

【高山市立学校 教育の方針と重点】 未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成 『主体的・対話的で深い学び』～対話から議論！より深い学びへ～ 一人ひとりに合った学びの実現	接続可能な社会の創り手の育成 ウェルビーイング(幸せ・生きがい)の向上 郷土教育・キャリア教育・ICT 教育・プレゼン教育
--	---

【学校教育目標】	元気 強い子 清見の子
進んで学ぶ子	なかよくやりぬく子 じょうぶで明るい子

真に強い子 人権尊重のまち 清見	<重点>自分も他の人も大切にできているかを問いかける ・自己をみつめ、「なりたい自分」に向けて努力できる子 ・自分も他の人も大切にするために考え、行動できる子 ・進んで清見について学び、その魅力を実感できる子
---------------------	---

育てたい資質・能力	よく考え、対話を通してよりよく課題を解決する力
-----------	-------------------------

【教師の構え】「委ねる」「支える」 ・子ども達と活動の目的や意義を考え、対話し、学びの「質」を高める ・児童の「自己決定」を尊重し、その実現のための環境づくりに注力する。		
研究推	研究テーマ 対話を通して深い学びを実現する子の育成 ・小集団における対話の方法の工夫 ・学習意欲を引き出す題材の設定 ※研究テーマに基づき、全員授業公開(年1回)を行う。	
組織	学習づくり部会	生活づくり部会
主な取組	1、対話を生み出す効果的な交流方法の定着 2、基礎的・基本的な知識や技能の定着に向けた取組の工夫	1、自分も他の人も大切にできているかを日常的に振り返る指導の充実 2、楽しい学校づくりための方策を、自分で考え、実行する活動の推進（自治能力の育成） 「真に強い子カード」を活用し、自己を見つめ、自分を伸ばす力を磨く
児童会	学習委員会 <対話で学びを深める> ・対話を充実させる方法の工夫とその共有 代表委員会 <楽しい学校づくり> ・全校がわくわくする活動の企画・運営	健康委員会 <互いの心とからだを守る> ・よりよい心と体づくりの推進 美化委員会 <気持ちの良い環境づくり> ・掃除の良い姿を認め合う活動の充実
地域・家庭	郷土教育 ・自然や食・稲作・森林を学ぶ（体験活動の重視） ・伝統文化の継承（清見ちびっこ太鼓等） 人権・福祉教育 ・自分も他の人も大切にすることの価値を共有し、具体的な場面でのよりよい行動を考える。	交通安全・防災教育 ・交通ルール理解と順守 ・避難訓練、防災教室、保小中引き渡し訓練 情報教育 ・家庭と連携した情報モラル教育の充実 ○清見あったか子育て会議（学校運営協議会） ○清見の子どもたちの育成を考える会 ○清見町子育て支援検討会議

こどもも職員もワクワクしながら学び続ける学校づくりの推進
・教科担任制、複数学級担任制の推進 ・保健相談員、ティーチャーアシスタントの活用 ・授業の充実に向けたICTの活用 ・AIによる校務の効率化
<業務量管理・健康確保措置> ・月の時間外勤務 45 時間以下 100%を目標とする。(年平均月 30 時間以下 年合計 360 時間以下) ・年間 3 回以上のストレスチェックの実施 ・年休 12 日以上取得 100%